

平成30年度 政務調査研究報告書

会派名	会派みらい	支出伝票No.	
事業名	先進地視察事業（鹿児島県 伊仙町 「エコツアー」）		
事業区分（該当へ○）	⑥ 調査研究費 ② 研修費 ③ 広報費 ④ 広聴費 ⑤ 陳情等活動費 ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費 ⑧ 資料購入費 ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費		

(1) この事業の目的：どんな課題を解決するため あるいは誰・何を対象に何を意図するのか

直面する人口減少による縮小社会に向き合うためには、地域資源を生かすことから、市民生活の基盤づくりを行うことが重要であるとの前提に立ち、これを実践する自治体から学ぶ。『集落』という地域資源を活かした「エコツアー」に参加。

(2) 実施概要

調査・研修の場合の	日時	訪問先・主催者等
実施日時と 訪問先・主催者	平成30年 7月 24日（火） 9時30分～ 11時30分	エコツアー NPO 法人徳之島虹の会 事務局 常 加奈子氏

視察内容	<p>1 視察先の概要 エコツアー NPO 法人徳之島虹の会 事務局 常 加奈子氏</p> <p>2. 視察内容 徳之島の自然の素晴らしさや魅力をわかりやすく伝えることができるエコツアーに参加</p> <p>3. 懇談内容 <エコツアー見学箇所> ・鹿浦川溪谷（第2種国立公園）・トゥヌキビラ（絶景ポイント）・カムイヤキ遺跡（国指定史跡） ・ヨブキ洞窟（7千年前の住居跡）・泉重千代翁宅（長寿世界一） ・中熊家の墓地（先祖代々の墓地） ・浅間神社（集落の地神） 篠原家の石垣（サンゴ礁の石垣）</p>
感想 まとめ ・市に活かせること等	<ul style="list-style-type: none"> ・何の変哲もない坂道であったり、史跡後であったり、民家の塀や墓までもが物語をつけることで観光ポイントになることには、新鮮な驚きを感じた。エコツアーの持つ意味の醍醐味を発見した思い。 ・エコツアーを主催しているNPOが小さな町に有って、10人程の若者で運営されていることにエネルギーを感じ、しかも案内いただいた常さんはIターン組でふるさとの島で暮らしたいという思いが伝わる、好感の持てる案内人だった。 ・飯田の地域ごとでもできそうなツアー。 ・域資源を生かす手段として、このようなツアーは有効ではないか。 ・常さんのような若い人が島の地域資産を知り、島を大切に考える若者が増えるといい。 ・全ての見学箇所に「物語（外来者向けのお話）」を作っている。 ・その地の人にとっては何気ない日常であっても、現場を訪れて話を聞くことによって外来者は新鮮に受け止めるものと感じた。 ・見学者からの質問が、説明のクオリティーを高めていく。